

令和 7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	熊本県あかねホーム		
開催日時	令和8年（2026）1月20日 10:30		
開催場所	熊本県あかねホーム 管理人室		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	2名	管理者、サービス管理責任者
	入居者	1名	
	入居者ご家族	0名	遠方のご家族あるいは、身寄りのない利用者のため今年度は参加者なしとなった。
	地域の関係者	1名	学校長
	福祉に知見を有する方	0名	
	経営に知見を有する方	1名	福祉施設 執行役員
	市町村担当職員	0名	
議題	(1) 主催者挨拶・地域連携推進会議の目的 (2) 出席者紹介 (3) 施設訪問時の感想（構成員の感想） (4) グループホームの取り組みの説明 (5) 意見交換 (6) その他		
協議内容・意見等	議題(1)・(2)のあと、(3)施設訪問時（R7.11.27及びR7.12.4）の感想をそれぞれより発言。 地域の関係者：これまで近く施設があることは理解していたがにこのような施設だということある事を知らなかった。知る良い機会となりよかったです。特に気になったことはなかった。 経営に知見を有する方：以前の訪問は20年くらい前になると思う。利用者を事業所で抱え込むことなく、地域に出ていくという以前からの取り組みを継続していく、感心する。 入居者：（地域や外部の方から見られることについて）抵抗感はない。 議題(4)当グループホームの取り組みを説明。直近10年の退所者の退去先や日中活動の状況、グループホームの運営状況。また、利用者への満足度調査の結果を説明している。 議題(5)意見交換でそれぞれより発言。 地域の関係者：利用者から、概ねポジティブな評価。居心地がいいんだろうと思う。職員は利用者と丁寧な関わりを持っているのだろうと思った。また報酬については利用者の負担以外で補助金などはあるのだろうかと思った。 経営に知見を有する方：自身の事業所でも報酬改定のたびに赤字時に転落し、事業を拡大しながらなんとかやっていく。グループホーム単独での経営は厳しいだろうと思う。また、職員の人手不足もある。最低賃金も上がっているのでさらに厳しい。憧れる職業になりにくいところもある。 管理者：世の中は障害福祉サービスを受ける人は、国が想定した以上に増えている。その為人材の確保も必要。小・中・高校生にも目を向けてもらい、将来そういった人材になってもらうためにも、このような会議は大事だと感じた。 地域の関係者：ニーズがあり、サービスの対象者が増加傾向になる中で深刻な人手不足な状況が理解できた。教育分野でも同じような課題があるが、障がい分野の深刻さが半端な物ではないと感じる。 管理者：支えるマンパワーを増やしていかないが、人材確保は簡単ではない状況です。だからと言って質の悪いサービスにならないよう、このような機会で生の声を聞かせてもらうとありがく、指摘いただくところは改善していきたい。		

協議內容 ·
意見等